



## 2026年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年12月10日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部 本部長 (氏名) 吉原 謙太

TEL 072-224-5155

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年1月期第3四半期の連結業績(2025年2月1日～2025年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	2,924	19.9	9		6		43	
2025年1月期第3四半期	2,438	21.2	14	93.9	36	89.8	1	

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 33百万円 ( %) 2025年1月期第3四半期 5百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	5.15	
2025年1月期第3四半期	0.23	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第3四半期	3,936	2,401	59.0
2025年1月期	3,143	2,516	77.7

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 2,324百万円 2025年1月期 2,441百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期		0.00		10.00	10.00
2026年1月期		0.00			
2026年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2026年1月期の連結業績予想(2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,220	29.6	20	77.2	20	87.8	22	88.9	2.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社アクアプラス、株式会社  
会社フィックスレコード 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年1月期3Q	11,096,000 株	2025年1月期	11,096,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年1月期3Q	2,677,480 株	2025年1月期	2,677,480 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年1月期3Q	8,418,520 株	2025年1月期3Q	8,407,352 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループは、既存事業の開発強化および新規事業を推進するために、2024年10月に組織変更を行い、「ONE YUKE'S」を掲げ全社一丸となった体制強化を進めております。この組織変更は、今後の企業成長に向けた次なる飛躍を見据えた基盤整備であり、その背景には「挑戦」と「面白いものを作る」姿勢の原点回帰があります。その実現に向けて、当社は「安定した収益構造を持つ組織の実現」を最重要方針として掲げるとともに、「選ばれる理由がある受託開発会社」、「自社タイトル開発への挑戦」および「受託事業の拡大や自社タイトル・新規事業等の挑戦により更なる収益の獲得」を目指し、ユークスブランドと安定事業の確立および未来への投資を実現・推進していきます。

当社グループの受託開発事業では、事業開発本部を中心とした営業活動を積極的に展開した結果、受注状況は回復基調にあります。

ゲーム・XR分野においても受注状況は回復基調にあり、売上高は増加しました。ゲーム分野においては、当社が開発を担当した「ゼンシンマシニングール」（発売元：株式会社ディースリー・パブリッシャー）が2025年10月23日に発売されました。また、当社が開発に参加した「ダブルドラゴン リヴァイヴ」（発売元：アークシステムワークス株式会社）も同日に発売されました。XR分野においては、リアルタイムライブの制作・配信に参加し、モーションキャプチャー収録、CGモデル・アニメーション制作を担当しました。2025年8月に国内3カ所で開催された『初音ミク「マジカルミライ 2025」』（主催：東京メトロポリタンテレビジョン株式会社、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社）において、『初音ミク』『鏡音リン』『鏡音レン』『巡音ルカ』『MEIKO』『KAITO』が出演するライブステージの担当楽曲でCG制作を行いました。

遊技機分野においては、外注費が増加したものの、昨年度に発生した課題に伴う開発遅延を解消しました。さらに、プロジェクトマネージャーの育成や開発ラインの拡充、技術力向上・成果物の高品質化に向けた社内教育を推進した結果、開発効率が向上し、収益性は改善基調にあります。

その他分野においては、モバイルコンテンツのプロジェクト開発も進んでおります。

パブリッシング事業では、パブリッシング機能の獲得を目的に株式会社アクアプラスを完全子会社化しました。同社の売上計上により連結売上高は増加しましたが、当第3四半期にM&A関連費用を計上したため、同期間の営業損益は営業損失となりました。今後は、株式会社アクアプラスの保有するIPを生かし、当社との協業体制を構築することでシナジーの最大化を図ります。また、新規事業のアイデアに関する社内公募制度を開始するなど、パブリッシング機能獲得に向けて、様々な取り組みをしております。なお、昨年度から取り組む製作委員会を通じた戦略投資は、当第3四半期末時点で累計2件となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,924百万円（前年同期比19.9%増）、経常損失は6百万円（前年同期は経常利益36百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円）となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して793百万円増加し3,936百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少574百万円、仕掛品の増加591百万円、株式会社アクアプラス子会社化に伴うのれんの増加537百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して907百万円増加し1,534百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加600百万円、未払金の増加64百万円、契約負債の増加47百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して114百万円減少し2,401百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円、剰余金の配当84百万円によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年1月期決算短信（2025年3月12日公表）において公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、2025年12月10日に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,690,278	1,115,619
売掛金及び契約資産	780,197	771,720
有価証券	198,554	200,000
商品	-	5,595
仕掛品	56,850	648,321
前払費用	30,885	56,942
その他	43,060	49,303
貸倒引当金	△268	△769
流動資産合計	2,799,559	2,846,734
固定資産		
有形固定資産	43,544	48,962
無形固定資産		
のれん	-	537,090
ソフトウェア	5,530	10,418
その他	1,242	2,297
無形固定資産合計	6,772	549,805
投資その他の資産		
投資有価証券	119,709	134,305
退職給付に係る資産	-	79,764
その他	275,807	377,047
貸倒引当金	△102,052	△100,152
投資その他の資産合計	293,465	490,965
固定資産合計	343,783	1,089,733
資産合計	3,143,342	3,936,468
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	-	5,003
短期借入金	-	600,000
1年内返済予定の長期借入金	-	14,280
1年内償還予定の社債	-	30,000
未払金	264,896	329,653
未払法人税等	10,837	22,218
契約負債	23,606	70,747
賞与引当金	97,076	159,355
受注損失引当金	210	-
その他	100,227	113,566
流動負債合計	496,854	1,344,825
固定負債		
長期借入金	-	27,410
長期未払金	200	200
退職給付に係る負債	129,284	134,464
繰延税金負債	-	27,604
その他	250	-
固定負債合計	129,734	189,678
負債合計	626,589	1,534,503
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	511,590	511,590
利益剰余金	2,552,001	2,424,491
自己株式	△1,054,323	△1,054,323
株主資本合計	2,422,170	2,294,661

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,634	29,378
その他の包括利益累計額合計	19,634	29,378
新株予約権	74,947	77,925
純資産合計	2,516,753	2,401,965
負債純資産合計	3,143,342	3,936,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	2,438,761	2,924,410
売上原価	1,880,022	2,216,286
売上総利益	558,738	708,124
販売費及び一般管理費	543,965	717,739
営業利益又は営業損失(△)	14,773	△9,615
営業外収益		
受取利息	5,339	7,840
受取配当金	1,799	1,092
為替差益	16,588	-
その他	6,251	3,786
営業外収益合計	29,979	12,719
営業外費用		
支払利息	146	1,782
為替差損	-	1,543
コミットメントフィー	8,381	6,422
営業外費用合計	8,528	9,748
経常利益又は経常損失(△)	36,224	△6,644
特別利益		
新株予約権戻入益	8,546	1,350
特別利益合計	8,546	1,350
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44,771	△5,294
法人税等	42,795	38,030
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,975	△43,324
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,975	△43,324

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,975	△43,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,737	9,743
その他の包括利益合計	3,737	9,743
四半期包括利益	5,712	△33,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,712	△33,580
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	6,855千円	11,030千円
のれんの償却額	一千円	9,103千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)および当第3四半期連結累計期間  
(自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。